



南関中スピリッツ

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

「自分の限界に挑戦! チャレンジ南関中」 NO.15 (文責 永杉尚久)

人権週間

12月4日(土)～12月10日(金)

今週は、人権を考える週間になっています。日頃見過ごしがちな、自分や自分の周りの人権について考えてみませんか。

今年のテーマは、『「誰か」のことじゃない。』です。人権問題を「自分のことじゃない。」と遠ざけるのではなく、「自分のこと」として考える機会にしましょう。

今、私たちの身の回りの人権問題は、部落問題をはじめ相手を傷つける言葉やいじめ、新型コロナウイルス感染に関わる誹謗中傷や差別でしょうか。それ以外にも様々な人権問題が、解決されないままにたくさん残されてきています。

校内を回っていると至る所に「南関中学校人権宣言」が掲示されています。(裏面参照)

今から8年前のこの時期に、南関中の先輩たちが知恵を出し合い、考えに考えぬいて創り上げられた宣言文でしょう。読んでみると、心が熱くなってきます。南関中生の一人一人が輝く存在であるよう、南関中が輝ける学校であるよう、宣言文に目を通して文脈に流れる思いを感じ取ってください。

今日の論語

子曰わく、「人にして遠き慮りなければ、必ず近き憂いあり。」と

先生は言われた、「人として、見通しを持たずに、あわてて何かを始めると、すぐに困ったり失敗したりするものだ。」と。

私自身、しつかりと考えて行動を起こすことの大切さは、ここまですべてと十分身にしています。

ただ、行き当たりばったり、思いつきの部分もなかなか直りそうにありません。そんな時は必ずと言って良いほど後悔することになります。

「立ち止まって考えよ。」と、自分に言い聞かせています。

南関中生の輝き

喜ばせ隊大活躍!!



十一月に行われた、町子ども会のウォークラリー大会で、喜ばせ隊のメンバー十一名が参加した小学生を楽しませてくれました。

玉入れコーナー
なかなかはいりません

スタッフの皆さんと

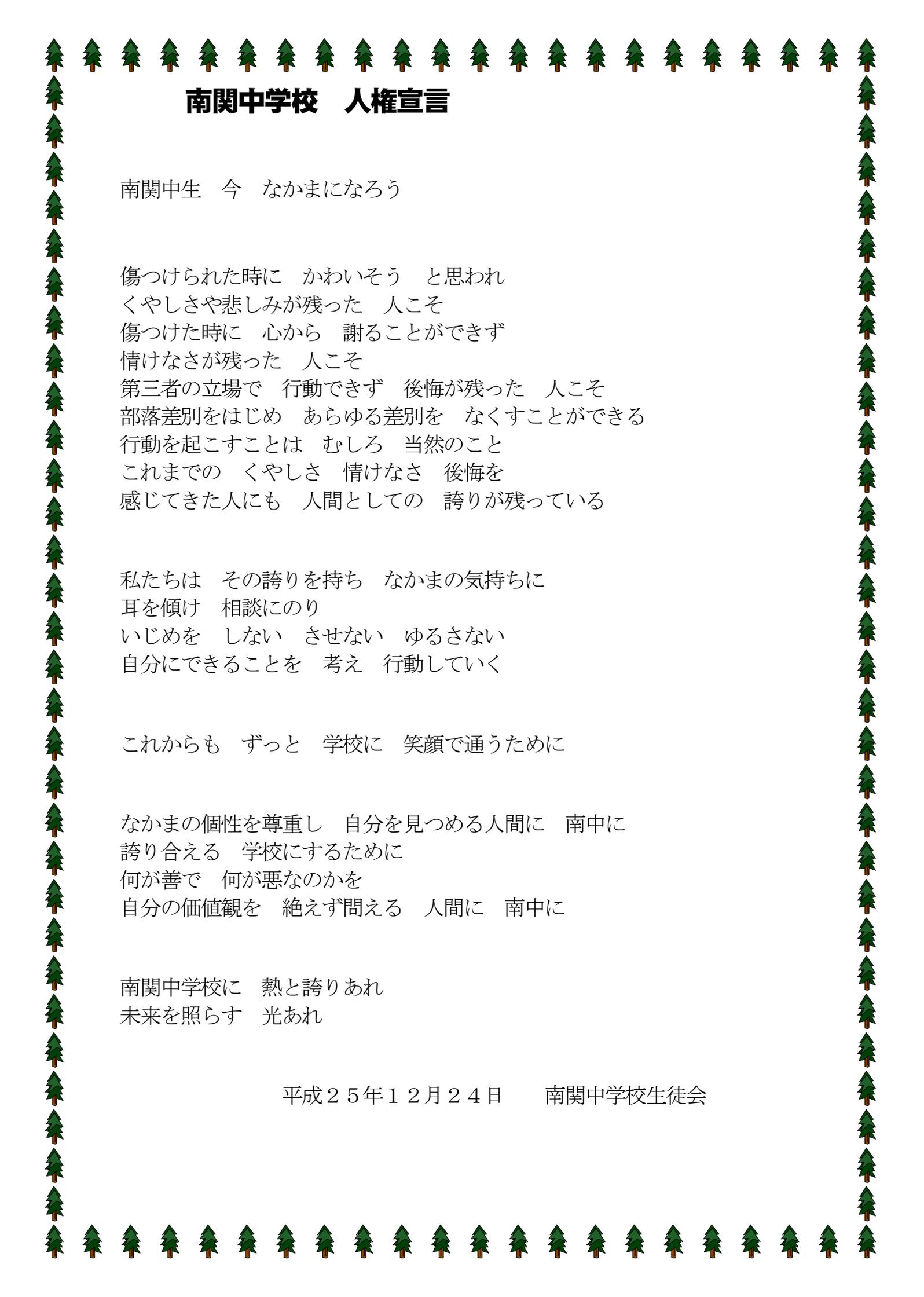


鹿本商工より手指消毒器の寄贈がありました。

先月、鹿本商工の機械科、商業科、情報管理科の生徒さんが共同で製作された、足踏みの手指消毒器を寄贈いただきました。名前は、「踏んJET」です。鹿本商工の生徒さん方の温かい思いがとても嬉しいです。高校生になると商品開発のアイデアや技術と実行力が大きく伸びるんですね。

さっそく、玄関に設置して活用しています。大切に使用していきます。





南関中学校 人権宣言

南関中生 今 なかまになろう

傷つけられた時に かわいそう と思われ
くやしきや悲しみが残った 人こそ
傷つけた時に 心から 謝ることができず
情けなさが残った 人こそ
第三者の立場で 行動できず 後悔が残った 人こそ
部落差別をはじめ あらゆる差別を なくすことができる
行動を起こすことは むしろ 当然のこと
これまでの くやしき 情けなさ 後悔を
感じてきた人にも 人間としての 誇りが残っている

私たちは その誇りを持ち なかまの気持ちに
耳を傾け 相談にのり
いじめを しない させない ゆるさない
自分にできることを 考え 行動していく

これからも ずっと 学校に 笑顔で通うために

なかまの個性を尊重し 自分を見つめる人間に 南中に
誇り合える 学校にするために
何が善で 何が悪なのかを
自分の価値観を 絶えず問える 人間に 南中に

南関中学校に 熱と誇りあれ
未来を照らす 光あれ

平成25年12月24日 南関中学校生徒会